

横浜市の農業



令和元年9月19日

横浜市環境創造局
環境活動支援センター

「横浜」のイメージ

港



みなとみらい



中華街





(青葉区寺家町)



(神奈川県羽沢町)



(都筑区東方町)



(金沢区柴町)



(緑区新治町)



(戸塚区汲沢町)



(戸塚区東俣野町)



(戸塚区舞岡町)



(戸塚区品濃町)

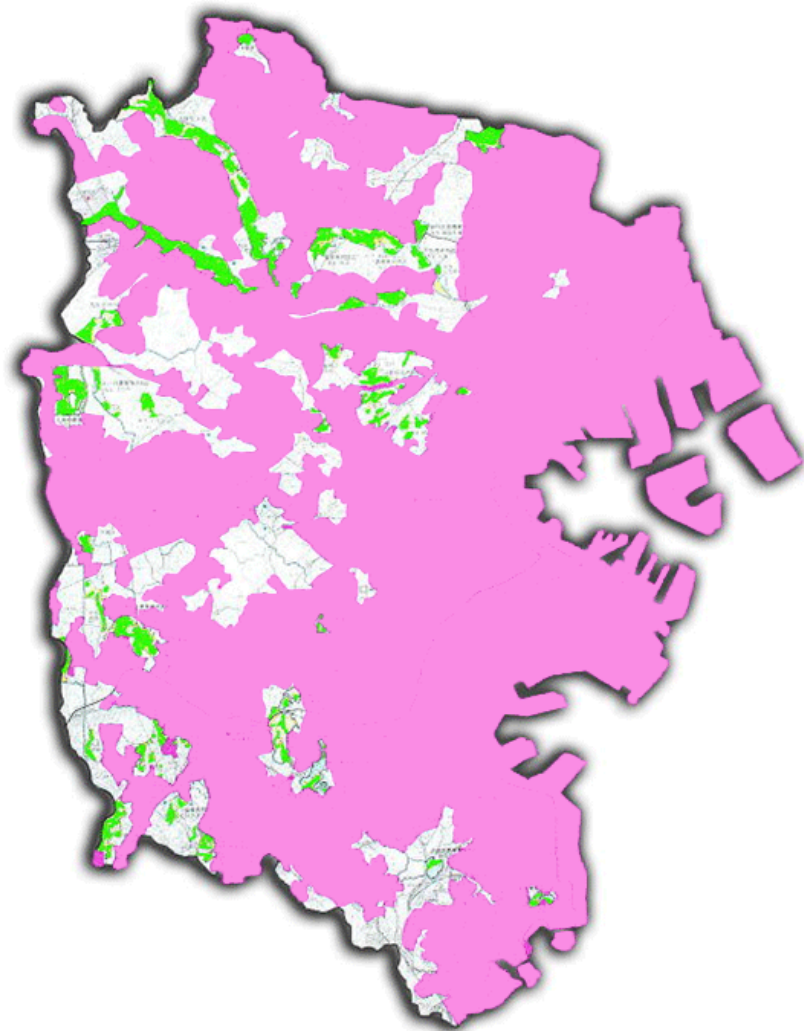




都市計画法

●…市街化区域
市街化を進める区域
(横浜市域の約 3 / 4)

○…市街化調整区域
市街化を抑制する区域
(横浜市域の約 1 / 4)



横浜市は計画的に
農地や樹林地などを
保全してきました。



横浜市の農業の現状

■ **農家戸数 3,451戸**

(2015年農林業センサス)

⇔ 全市 163万世帯

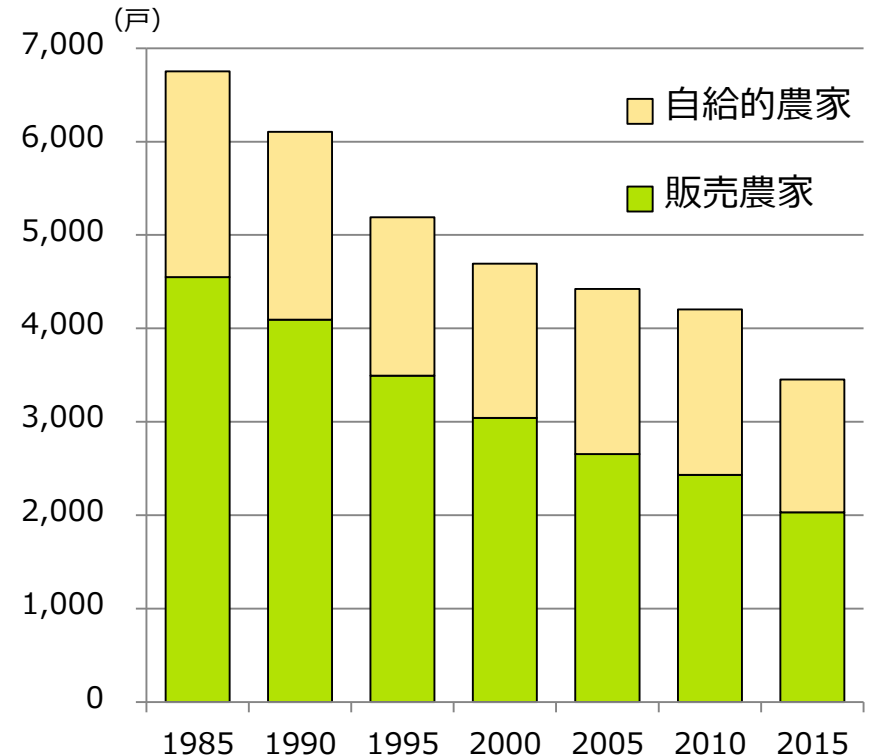
(2015年1月現在)

■ **農業従事者数 5,639人**

(2015年農林業センサス)

⇔ 全市 371万人

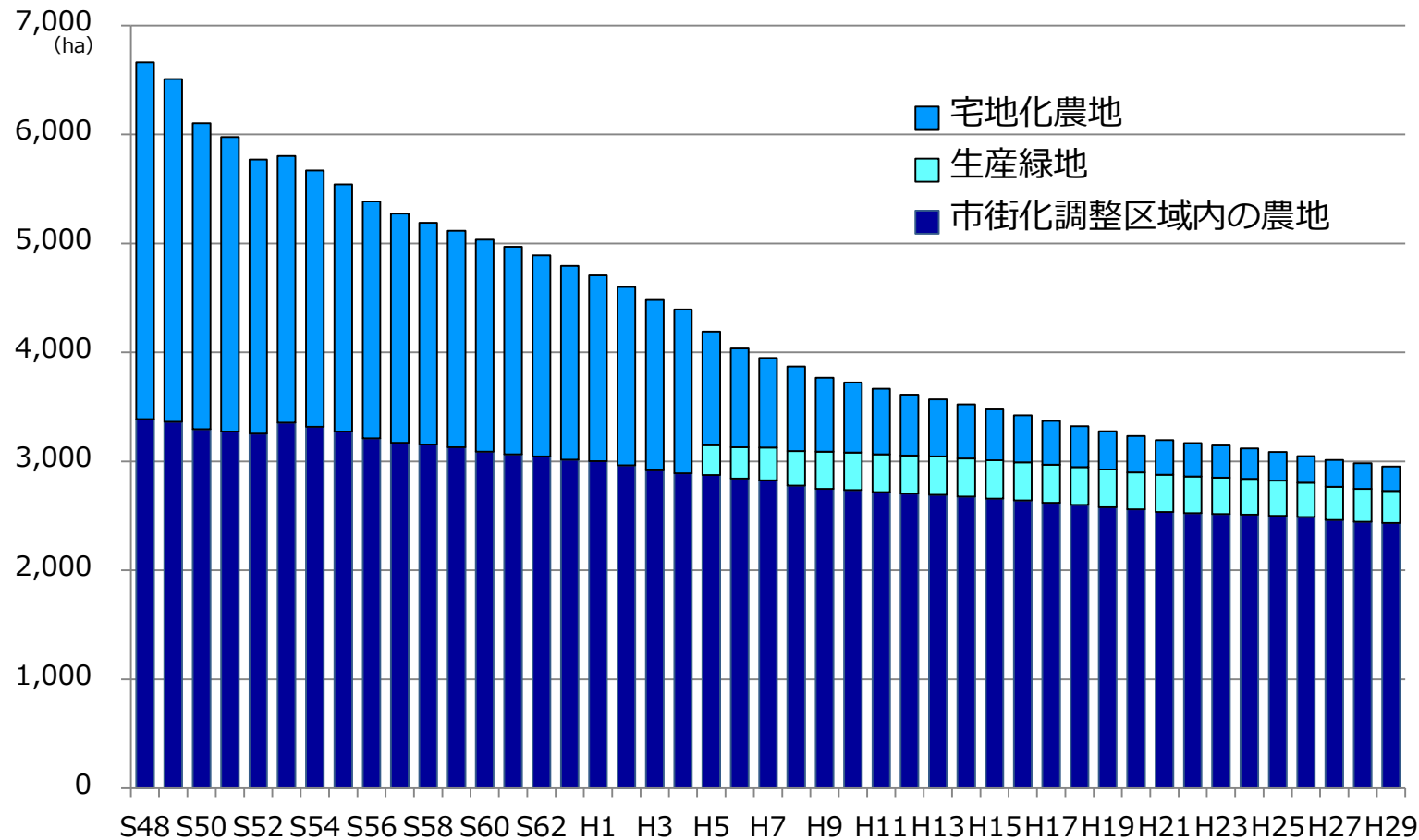
(2015年1月時点)



横浜市の農業の現状

■ 農地面積 **2,952** 畝 (H29固定資産概要調書)

⇒ 市域の約7%



横浜市の農業の現状

- **農業産出額** 約**134億円** (H27農林推計) **多品目**
⇒ 県内 **1位**
- **野菜生産量** 約**6万トン** (H19局推計)
⇒ 約**60~70**万人分の生産量
- **果物生産量** 約**2,000トン** (H19局推計)
⇒ 「浜なし」 **1,400トン**
- **農産物直売所** 概ね**1,000**か所



横浜の農業（他都市との比較（農業産出額））

①神奈川県内の順位（億円）

	自治体名	農業産出額
1	横浜市	134.1
2	三浦市	120.8
3	平塚市	68.3
4	藤沢市	60.2
5	小田原市	42.4
6	横須賀市	39.5
7	伊勢原市	36.2
8	川崎市	35.8
9	秦野市	35.0
10	相模原市	34.0

②政令指定都市の順位（億円）

	自治体名	農業産出額
1	新潟市	572.1
2	浜松市	510.4
3	熊本市	461.0
4	岡山市	209.9
5	静岡市	167.9
6	神戸市	155.7
7	横浜市	134.1
8	福岡市	115.7
9	さいたま市	107.0
10	京都市	96.0

（平成27年市町村別農業産出額（推計）農林水産省）



横浜の農畜産物（野菜）

横浜で生産量の多い野菜

市内順位	品 目	収穫量 (t)	全国順位	県内順位	県内で横浜より多い市
1位	キャベツ	12,862	10位	3位	三浦市、横須賀市
2位	だいこん	6,581	40位	2位	三浦市
3位	ほうれんそう	4,200	11位	1位	
4位	トマト	4,040	21位	1位	
5位	こまつな	3,700	1位	1位	
6位	さつまいも	2,230	52位	1位	
7位	じゃがいも	2,131	111位	1位	
8位	ねぎ	1,909	42位	2位	平塚市
9位	はくさい	1,900	71位	1位	
10位	きゅうり	1,887	66位	3位	平塚市、藤沢市

平成18年度産 作況調査（農林水産省）



横浜の農畜産物（果物）

横浜で生産量の多い果物

品目	面積	全国順位	生産量	全国順位
日本なし	69ha	51位	1,440t	48位
く　り	90ha	41位	90t	46位
う　め	49ha	38位	110t	64位
キウイ	5ha	53位	49t	65位
か　き	43ha	74位	230t	107位
ぶどう	11ha	196位	64t	270位

平成18年度産　作況調査（農林水産省）



横浜の農畜産物（花き）

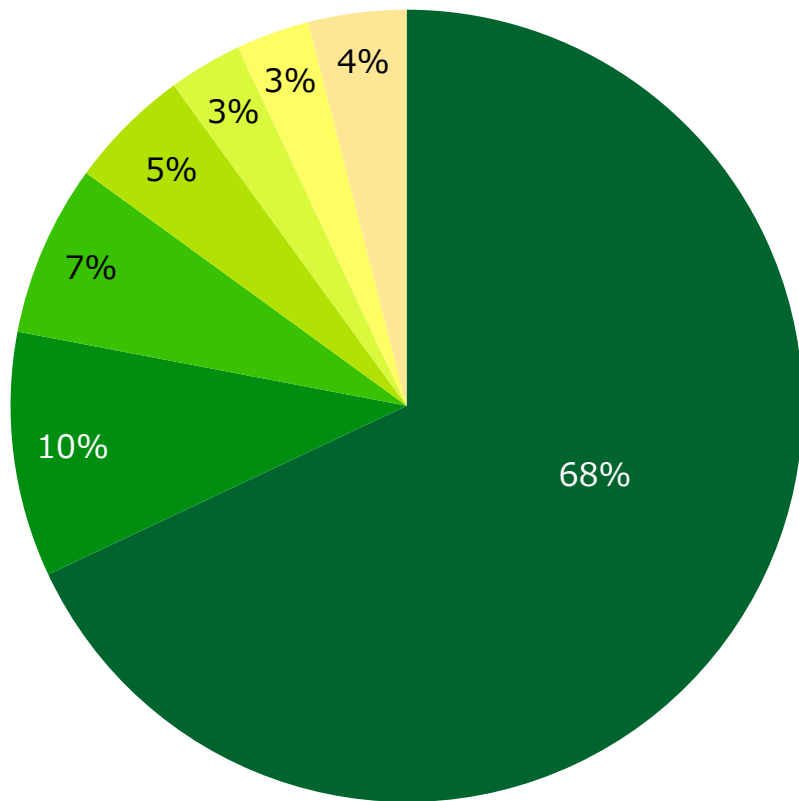
横浜で生産量の多い花

品目	収穫面積	全国順位	出荷量	全国順位
ベゴニア	37a	7位	161千鉢	1位
プリムラ	74a	10位	151千鉢	11位
シクラメン	303a	8位	152千鉢	25位
ニチニチソウ	152a	1位	381千鉢	6位
パンジー	543a	1位	1860千鉢	8位
ペチュニア	202a	4位	550千鉢	9位
マリーゴールド	133a	3位	289千鉢	11位

平成18年度産 作況調査（農林水産省）



市内の農業産出額の内訳



■ 野菜 ■ 果実 ■ いも類 ■ 花き
■ 乳用牛 ■ 豚 ■ その他

市内の農地のうち、畑は93%、田は7%

部門	農業産出額	構成比
野菜	91億1千万円	68%
果実	12億9千万円	10%
花き	9億6千万円	7%
いも類	7億0千万円	5%
乳用牛	4億1千万円	3%
豚	3億5千万円	3%
その他	5億9千万円	4%
合計	134億1千万円	100%

(平成27年市町村別農業産出額(推計) 農林水産省)



横浜における農業施策



市民農園



農地の流動化



水田保全契約奨励事業

農地の保全・利用

農業振興地域、生産緑地

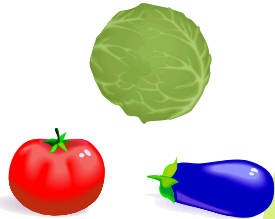
市民農園



恵みの里



よこはま・
ゆめ・ファーマー



横浜ブランド農産物

農業の振興

生産振興、地産地消

担い手支援

認定制度、支援制度



よこはまファーム
はま菜ちゃん



地産地消サポート店



認定農業者

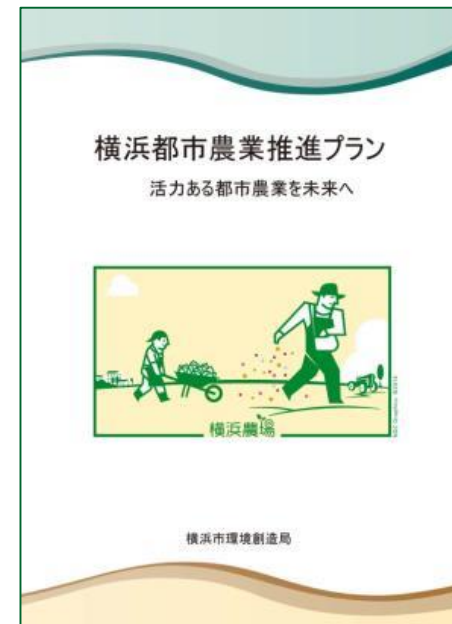


横浜農場

横浜の農業を推進するために

持続できる都市農業を推進する取組

- 「横浜都市農業推進プラン」
(平成27年2月3日) 策定
- 「横浜市の都市農業における
地産地消の推進等に関する条例」
(平成27年4月1日施行)の制定



29年度 農政関連予算 19億5,000万円



農業施策の体系

取組の柱

施策

事業

取組の柱 1

持続できる
都市農業を
推進する

1 農業経営の安定化・ 効率化に向けた 農業振興	①市内産農畜産物の生産振興 ②都市農業の拠点づくり支援 ③生産基盤の整備と支援
2 横浜の農業を支える 多様な担い手に 対する支援	④農業の担い手の育成・支援 ⑤農業経営の安定対策
3 農業生産の基盤と なる農地の利用促進	⑥農地の貸し借りの促進 ⑦まとまりのある農地等の保全
4 時代の変化に応じた 新たな施策	⑧農業を活性化させる新たな取組



農業施策の体系

取組の柱

施策

事業

取組の柱 2

市民が身近に
農を感じる場
をつくる

1 農に親しむ取組の
推進

①良好な農景観の保全
②農とふれあう場づくり

2 地産地消の推進

③身近に感じる地産地消の推進
④市民や企業と連携した地産地消の展開

「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26～30年度）」に
定められている農業施策



横浜の農業を推進するために

市民が身近に農を感じる場をつくる取組

〔横浜みどりアップ計画〕

景観や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での役割に着目した取組

地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を推進



横浜みどりアップ計画
(計画期間:平成26-30年度)
【概要版】

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む
森(樹林地)の多様な役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全することにも、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる
景観や生物多様性の保全など農地が持つ環境面での役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる
道の魅力を高め緑むすびづくりにつなげる緑の廊下、田舎暮らしの緑の創出に、緑のネットワーク形成も意識しながら取組を進めます。地産地消を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

効果的な広報の展開 市民の皆等のご理解とご協力を得ながら取組を進めるため、取組の内容や実績について、様々な媒体・手法を用いて効果的にお知らせし、理解を深めていただくとともに、目に見える取組に参加するきっかけとなる機会を提供します。

横浜みどり税 横浜みどりアップ計画は、財源の一部として「横浜みどり税」を活用しています。

横浜市環境創造局



横浜市の地産地消の取組

質の高い農畜産物をつくる
意欲的な生産者

市内産食材を
利用する
飲食店



市内産農畜産物
を利用して土産
品等を
加工・販売
する事業者

地域で横浜の食や農を通じて豊かな暮らしを
楽しみ、横浜の農業を支える市民（消費者）

生産者、事業者及び市民と連携し、市内産農畜産物等の積極
的な利用を進め、その魅力を発信 横浜市

横浜の食や農が横浜ブランドとして市内で更に展開されるとともに
観光客や市外にも浸透

（市内飲食店でのメニュー提供、横浜土産の充実など）

生産者の農業経営の安定化

身近に感じる地産地消の推進

①直売所等の整備や青空市の運営の支援



②市民が市内産植木や草花に親しめる機会の創出



身近に感じる地産地消の推進

③情報発信・P R活動の推進

- 情報誌「はまふうどナビ」の発行やHP、Twitterによる情報発信



【農業振興課HP】横浜で地産地消

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/nousan/tisantisyo/>

【環境創造局Twitter】横浜環境情報

https://mobile.twitter.com/yokohama_kankyo

年3回発行
紙、HPなどで提供



身近に感じる地産地消の推進

③情報発信・PR活動の推進

- ガイドブックやリーフレットなどの制作・PR

よこはま
地産地消
フェア
ようこそ横浜農場へ

地産地消月間である11月は市内の飲食店でも市内産農畜産物を使用したメニューがたくさん登場！店舗やメニューについては、HPで随時お知らせします。
横浜・地産地消では
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/roosany/saentogyo/awachai/11mensu.html>

11月10日
11月30日

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル
ラウンジ&バー「マリナブルー」(2階)
バルメ&スーベール「アイマリーナ」(2階)
はまばーと横浜野菜たっぷりふりかけのキッシュ
【メニュー】「マリナブルー」ドリンクセット1,900円(イートイン/税別)
「アイマリーナ」1名様375円(テイクアウト/税込)
横浜のブランド「はまばーと」と横浜野菜をたっぷり使い焼き上げた、具たっぷりのキッシュです。
TEL 045-223-2222(ホテル代表) URL <http://www.interconti.com.jp/yokohama/>

11月10日
11月30日

横浜ロイヤルパークホテル
レストラン「バンケットフロア」(地下1階)
バー「ジャップコフレ」(1階)
世界クルーズランチ 神奈川-横浜編-
【メニュー】レストラン「バンケットフロア」コース仕立てのランチ2,412円(税別)
ケーキのゴッレ、華やかな紅白のクリスマスケーキのクッキー990円(税込)
横浜市「地産地消月間」タイアップ店舗、神奈川・横浜で採れた野菜と山海の幸を使ったランチです。
TEL 045-221-1155 (レストラン予約) URL <https://www.yphc.com/>

11月13日
2018年
1月14日
2019年

横浜ベイホテル東急
オールデイダイニング「カフェトスカ」(2階)
ナイトキッチンスタジアム
こだわりの食材 神奈川-横浜-地元伝承-
【メニュー】魚介類、野菜のそれぞれのプロフェッショナルが厳選した神奈川・横浜の食材を、シェフがその味を生かしたメニューをご用意いたします。
毎週土曜日の地元産物フェア、ディナーフェアで神奈川・横浜産の新鮮な食材を使ったメニューの数々をお楽しみください。
TEL 045-682-2222 (代表) URL <https://ybh.com>

地産地消の
しおり

横浜の
飲食店の
皆様へ

地産地消ガイド横浜
ようこそ横浜農場へ



身近に感じる地産地消の推進

③情報発信・PR活動の推進

- イベントの開催



全国都市緑化フェア



よこはま食と農の祭典2017



北仲マルシェ



市民や企業と連携した地産地消の展開

①地産地消を広げる人材の育成

- はまふうどコンシェルジュの育成・活動支援
地産地消の案内人である「はまふうどコンシェルジュ」の育成及び、認定後のマルシェ・収穫体験等の活動を支援

これまでの事例

- ・ マルシェの開催、料理コンテストの開催
- ・ 農作物収穫体験イベント、生産者の話を聞く講演会 等



市民や企業と連携した地産地消の展開

①地産地消を広げる人材の育成

- よこはま地産地消サポート店の活動支援

市内産農畜産物を使ったメニューを提供する飲食店をサポート店として登録し、PRを実施

- ・ 現在121店舗が登録（H29.11月末時点）
- ・ 都心臨海部 サポート店マップの作成 等



市民や企業と連携した地産地消の展開

②市民や企業等との連携

- 企業等との連携

企業による市内産農畜産物を使った新商品の開発やマルシェの開催に協力

セブン&アイ

サンドウィッチ
おにぎり



山崎パン

ランチパック



JR東日本

マルシェ



市民や企業と連携した地産地消の展開

②市民や企業等との連携

● ビジネス創出支援

中小企業や新規創業者を対象に、市内産農畜産物を使用した加工品の創出などの事業化を支援

1年目：講座等により、事業者を育成

2年目：必要に応じて事業開始に係る経費の一部を助成



市内産米を用いたフライパンで炊けるご飯の開発・販売

市民や企業と連携した地産地消の展開

②市民や企業等との連携

- 横浜市立小学校への市内産農産物の一斉供給
- はま菜ちゃん料理コンクールの開催

第15回 はま菜ちゃん料理コンクール

応募作品数：1837点

本選出場：6組



人が人を結ぶ 農の魅力



横浜農場

NDC Graphics ©2016